

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成28年6月16日(2016.6.16)

【公開番号】特開2013-186907(P2013-186907A)

【公開日】平成25年9月19日(2013.9.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-051

【出願番号】特願2013-48464(P2013-48464)

【国際特許分類】

G 0 6 F 11/32 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 11/32 B

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月25日(2016.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ディスプレイを有するコンピューティングデバイスにおいて、  
前記ディスプレイに完了状況インジケータを持つアプリケーションを表示し、  
前記完了状況インジケータは、前記アプリケーションによって実行されているタスクの完了状況を視覚的に表すバーであり、前記タスクはウェブページのロードであり、  
前記バーの一方の端部が前記タスクの完了を表わす位置に向かって移動し、  
前記タスクの完了の前に、  
前記バーの前記一方の端部が前記タスクの完了を表わす前記位置へ向かって第 1 の速度で移動している間に、前記タスクが完了していなくても前記完了状況インジケータが前記タスクの完了を示す閾値が到達されたかどうかを判定し、  
前記完了状況インジケータが前記タスクの完了を示す前記閾値が到達されたと判定したことに応じて、前記タスクが完了していなくても、前記バーの前記一方の端部を現在位置から前記タスクの完了を示す前記位置へ向けて、前記第 1 の速度よりも大きい第 2 の速度で移動する、方法。

【請求項 2】

前記バーの前記一方の端部が現在位置から前記タスクの完了を示す前記位置へ向かって前記第 2 の速度で移動されるのと同時に、または、前記バーの前記一方の端部の前記タスクの完了を示す前記位置への移動の直後に、前記アプリケーションのユーザインターフェース要素を視覚的に変更する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記視覚的に変更されたユーザインターフェース要素は、前記タスクの完了を示す前記位置に隣接して配置される、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記バーの前記一方の端部を現在位置から前記タスクの完了を示す前記位置へ向けて前記第 2 の速度で移動することは、ロケット効果アニメーションを表示することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記バーの前記一方の端部が前記タスクの完了を示す前記位置へ移動する間、前記第 2 の速度を徐々に増加させる、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 6】**

前記バーの前記一方の端部が現在位置から前記タスクの完了を示す前記位置へ向かって前記第 2 の速度で移動されるのと同時に、または、前記バーの前記一方の端部の前記タスクの完了を示す前記位置への移動の直後に、前記タスクが完了していなくても、前記ウェブページのロードを継続中に前記ウェブページの閲覧を可能にする、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 7】**

前記閾値は、  
前記ウェブページに描画される要素の全領域の一部分、  
ウェブページローディングタスクの完了した部分、  
ロードされているウェブページの種類、および / または、  
ロードが必要なウェブページにおけるオブジェクトの量および / または種類、  
に基づく、請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

**【請求項 8】**

ディスプレイと、  
プロセッサと、  
メモリと、  
1 つ以上のプログラムと、を備え、前記 1 つ以上のプログラムは前記メモリに格納され、前記プロセッサにより実行され、前記 1 つ以上のプログラムは、  
前記ディスプレイに完了状況インジケータを持つアプリケーションを表示し、  
ここで、前記完了状況インジケータは、前記アプリケーションによって実行されているタスクの完了状況を視覚的に表すバーであり、前記タスクはウェブページのロードであり、  
前記バーの一方の端部が前記タスクの完了を表わす位置に向かって移動し、  
前記タスクの完了の前に、  
前記バーの前記一方の端部が前記タスクの完了を表わす前記位置へ向かって第 1 の速度で移動している間に、前記タスクが完了していなくても前記完了状況インジケータが前記タスクの完了を示す閾値が到達されたかどうかを判定し、  
前記完了状況インジケータが前記タスクの完了を示す前記閾値が到達されたと判定したことに応じて、前記タスクが完了していなくても、前記バーの前記一方の端部を現在位置から前記タスクの完了を示す前記位置へ向けて、前記第 1 の速度よりも大きい第 2 の速度で移動する、ための命令を含むコンピューティングデバイス。

**【請求項 9】**

前記バーの前記一方の端部が現在位置から前記タスクの完了を示す前記位置へ向かって前記第 2 の速度で移動されるのと同時に、または、前記バーの前記一方の端部の前記タスクの完了を示す前記位置への移動の直後に、前記アプリケーションのユーザインターフェース要素を視覚的に変更するための命令を含む、請求項 8 に記載のデバイス。

**【請求項 10】**

前記視覚的に変更されたユーザインターフェース要素は、前記タスクの完了を示す前記位置に隣接して配置される、請求項 9 に記載のデバイス。

**【請求項 11】**

前記バーの前記一方の端部を現在位置から前記タスクの完了を示す前記位置へ向けて前記第 2 の速度で移動することは、ロケット効果アニメーションを表示することを含む、請求項 8 に記載のデバイス。

**【請求項 12】**

前記バーの前記一方の端部が前記タスクの完了を示す前記位置へ移動する間、前記第 2 の速度を徐々に増加させる命令を含む、請求項 8 に記載のデバイス。

**【請求項 13】**

前記バーの前記一方の端部が現在位置から前記タスクの完了を示す前記位置へ向かって前記第 2 の速度で移動されるのと同時に、または、前記バーの前記一方の端部の前記タス

クの完了を示す前記位置への移動の直後に、前記タスクが完了していなくても、前記ウェブページのロードを継続中に前記ウェブページの閲覧を可能にする命令を含む、請求項 8 に記載のデバイス。

【請求項 14】

前記閾値は、  
前記ウェブページに描画される要素の全領域の一部分、  
ウェブページローディングタスクの完了した部分、  
ロードされているウェブページの種類、および / または、  
ロードが必要なウェブページにおけるオブジェクトの量および / または種類、  
に基づく、請求項 8 乃至 13 のいずれか 1 項に記載のデバイス。

【請求項 15】

ディスプレイを有するコンピューティングデバイスに、  
前記ディスプレイに完了状況インジケータを持つアプリケーションを表示させ、  
前記完了状況インジケータは、前記アプリケーションによって実行されているタスクの完了状況を視覚的に表すバーであり、前記タスクはウェブページのロードであり、  
前記バーの一方の端部が前記タスクの完了を表わす位置に向かって移動し、  
前記タスクの完了の前に、  
前記バーの前記一方の端部が前記タスクの完了を表わす前記位置へ向かって第 1 の速度で移動している間に、前記タスクが完了していなくても前記完了状況インジケータが前記タスクの完了を示す閾値が到達されたかどうかを判定させ、  
前記完了状況インジケータが前記タスクの完了を示す前記閾値が到達されたと判定したことに応じて、前記タスクが完了していなくても、前記バーの前記一方の端部を現在位置から前記タスクの完了を示す前記位置へ向けて、前記第 1 の速度よりも大きい第 2 の速度で移動させる、ための命令を含むコンピュータプログラム。

【請求項 16】

前記コンピューティングデバイスに、前記バーの前記一方の端部が現在位置から前記タスクの完了を示す前記位置へ向かって前記第 2 の速度で移動されるのと同時に、または、前記バーの前記一方の端部の前記タスクの完了を示す前記位置への移動の直後に、前記アプリケーションのユーザインターフェース要素を視覚的に変更させるための命令をさらに含む、請求項 15 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 17】

前記視覚的に変更されたユーザインターフェース要素は、前記タスクの完了を示す前記位置に隣接して配置される、請求項 16 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 18】

前記バーの前記一方の端部を現在位置から前記タスクの完了を示す前記位置へ向けて前記第 2 の速度で移動することは、ロケット効果アニメーションを表示することを含む、請求項 15 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 19】

前記コンピューティングデバイスに、前記バーの前記一方の端部が前記タスクの完了を示す前記位置へ移動する間、前記第 2 の速度を徐々に増加させる命令をさらに含む、請求項 15 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 20】

前記コンピューティングデバイスに、前記バーの前記一方の端部が現在位置から前記タスクの完了を示す前記位置へ向かって前記第 2 の速度で移動されるのと同時に、または、前記バーの前記一方の端部の前記タスクの完了を示す前記位置への移動の直後に、前記タスクが完了していなくても、前記ウェブページのロードを継続中に前記ウェブページの閲覧を可能にさせるための命令をさらに含む、請求項 15 に記載のコンピュータプログラム。

。

【請求項 21】

前記閾値は、

前記ウェブページに描画される要素の全領域の一部、  
ウェブページローディングタスクの完了した部分、  
ロードされているウェブページの種類、および／または、  
ロードが必要なウェブページにおけるオブジェクトの量および／または種類、  
に基づく、請求項 15 乃至 20 のいずれか 1 項に記載のコンピュータプログラム。